

つ・な・ぐ



まちプラ文化祭 with 市民活動フェスタ 開催しました！

5月15日（日）浦安市まちづくり活動プラザにて開催

前日まで続いていた雨もあがり

ストリートピアノの音色が響く会場は

朝から多くの来場者でにぎわいました



当初は3月開催予定だった“with”。コロナ感染状況に配慮し、5月に延期となり、まさに満を持しての開催となりました。対面でのイベント開催は2年半ぶり。参加団体の皆さんもこの日を心待ちにしていました。「対面だとこちらの思いが来場者にしっかり伝えられる」、「他の団体とも自由に交流できてよかった」など人と人が直接語り合える良さを実感されていました。

“with”の特長は市民活動センターの登録団体とまちづくり活動プラザ事業者団体がそれぞれの活動の内容に応じて様々なかたちで参加したことです。来場者の年代や目的に応じて、市民活動に親んでもらうことができました。展示ではじっくりと市民活動を知ることができ、ワークショップ

プでは楽しみながら団体の活動を実体験でき、活動に関連した物品の購入やウクライナ、ミャンマーへの寄付では資金サポートという形で活動を応援できました。来場者の年代もこれまでの同様のイベントより幅広く、子連れの家族の姿も目立ちました。「with」に来たことが、市民活動や地域のことに興味を持つきっかけになればと思います。 ※詳しい様子は次のページでご紹介します。

DATA

- 来場者数：650人
- 展示：17団体
- 販売：6団体
- ワークショップ+ミニワークショップ：20団体
- その他（映画上映会・講座等）：8団体



来場者の声

チーバ君がいてくれてとても和みますね。また来てほしいです♪

企画が楽しく子どももワクワクしそう。ストリートピアノやドローンは興味をひかれました。

久しぶりに楽しく参加できました。市民活動を知ることができてよかった！

種々の展示があり参加になりました。地域の活動がとても豊富であると初めて知りました。

まちプラ文化祭・市民活動フェスタ「with」

屋外
1F

キレイなお花とピアノが
みなさんをお出迎え

ストリートピアノの音色が響く中 緑と笑顔が溢れる屋外スペース

まちづくり活動プラザの屋外では、新緑の美しい鉢花や草花苗、お弁当などが販売され、植木鉢ペイント&寄せ植えワークショップやさかな釣りゲームなどが開催されました。幅広い世代のみなさんが、植物を囲んで賑わっていました。さかな釣りゲームでは、子どもたちが遊びを通して三番瀬に生息するいきものについて知ることができる工夫がされていました。そんな青空の下に響き渡っていたのがストリートピアノの音色です。車椅子の方も昇ることができる昇降機をついたストリートピアノ搭載車がやってきていました。連弾を披露してくださった親子は「発表会よりも緊張した」と笑顔で語ってくれました。



サステイナブルな視点を体感できる リサイクルステーション

リユース・リサイクルを目的として普段から食品や衣類、古本、小型家電などの回収拠点として開かれているリサイクルステーションでは、布ぞうりをつくる講習会や持参したTシャツをリメイクしてキーホルダーをつくるワークショップなどを開催。子ども向けに牛乳パックと輪ゴムだけで簡単につくれるクラフト体験では、大人までもが歓声をあげながら楽しんでいました。小学生の娘さんと来場された女性は「普段からリサイクルステーションに服を持ってきているが、娘を連れてきたのは初めて。廃校を再活用することで生まれたこの施設を娘に見せることができよかったです」とお話しされました。

2F

アートとものづくりの拠点は
「楽しい」がいっぱい!

シェアアトリエで風をつくって飛ばす ものづくり体験

ものづくりをする場所と工具を提供しているシェアアトリエ「手の舎」には天井からつるされた段ボールモビールのアートが美しくゆらめいていました。ここで開催されたのが紙で風をつくり、お絵描きをして校庭で飛ばすワークショップ。子どもたちひとりひとりの個性と感性によって世界にひとつだけの風が生まれていました。参加した女の子は「自分でつくった風をあげるのは初めてだったので高く飛ばすのが難しかった」そうです。



色紙アートに没頭し 飲み物でほっと一息つけるブックカフェ

古書販売とカフェ「わくわくはっぴ一本棚」では色紙アートワークショップが開催されました。まずは様々な線が引いてある色紙を選びます。そこに、自分でさらに線を書き加えます。「上手な線ではなく気持ちのいい線をひくことが大事」だそうです。最後に、色を塗ります。参加していた男の子はランダムにひいた線が「ドラゴンの卵に見える!」と自由な発想で色を塗っていました。また、カフェスペースではケーキセットが販売され、ゆったりとした時間が流れていました。

たくさんの方々にご来場いただき、まちづくり活動プラザの存在意義や、団体の方々の市民活動の内容について、より理解を深めていただくことができました。リアルな場所で人が集い、対面で相手と交流することって、他からは得られないようなパワーをもらえるなどあらためて感じました。

(市民ライター 西橋友理)



多彩なワークショップや展示 そして手作り品の販売・・・
 小さなお子さんからシニア世代まで 思いっきり楽しめました！



地球にやさしいワークショップ

「プラごみアート体験会」では、三番瀬クリーンアップで拾い集められ、仕分けられた色とりどりのプラスチックごみを使って、画用紙の上に少しずつ鳥やカニなどの形を作り上げていきます。想像以上に多いごみの量や種類を目の当たりにし、環境問題の深刻さや、ボランティア・会員の支えの大きさを改めて実感しました。

水族館好きの小学生たちが特に夢中になっていた「境川クイズ」は難問揃い。境川で釣れた珍しい生き物の展示にも皆釘付けになっていました。こういったワークショップを通して豊かな自然を守ることへの関心が高まり、そのために一人ひとりができることを考える大切さにも気づかされました。



昔懐かしいお菓子の袋でポーチを作るコーナーでは、それぞれのポーチを大切に手にする子どもたちを見て、サポートしたスタッフたちも顔もほころばせました。参加した子どもたちにとって、普段ごみになる物も工夫次第では、新たな使い道があることを知る良いきっかけとなりました。



市民活動って いろいろあるんだね！

長い廊下を利用して行われたのが、「ドローンカメラでFPV体験」。装着したFPVゴーグルにスタッフの操作する小型ドローンカメラから映像が写し出されます。まるで自分が実際にドローンに乗って飛んでいるような感覚に子どもたちも大興奮。

その他にも、小さな子どもがおもちゃで自由に遊べるコーナー、シニアの健康づくりに役立つエクササイズ体験会、五感を大切にしながら絵を描き、ストレス緩和にも役立つ臨床美術のワークショップなどが催されました。小さな子どもからシニアまでが思い思いに「with」を満喫。みなさんから、「あっ楽しそう」「やってみたい」の声が聞こえるようでした。



人と人がつながる大切さを実感

展示ブースを巡っていると、人と人のつながりを大切に、悩みや情報を交換する当事者会の団体があることを知りました。当事者ならではの体験談を伺ったり、社会にまだ浸透していないハートプラスマークを実際に手に取らせていただいたりと、貴重な機会となりました。また、「女性の独立・起業ミニセミナー付き相談会」では、立場も悩みも異なる参加者に対して団体スタッフが個別にアドバイス。他の参加者の視点や共感も大切にされたセミナーからは、会場の一体感が伝わってきました。

どの団体も少しずつ活動を再開しているとはいえ、コロナ禍以前ほどの気軽な交流は難しい面もあります。そのような中だからこそ、世代や団体を超えて参加者が自由に交流できるwithは、より一層有意義な時間となったようです。

閉会間際まで多くの人たちでにぎわう会場の様子を目にし、心温まる思いでいっぱいになりました。

(市民ライター 武田めぐ)



つなぐプロジェクト プログラム募集

つなぐプロジェクトは市民活動団体と自治会・老人会・PTAなどの地域活動団体、学校、事業者、行政をつなぐプロジェクト。お互いのアイデアや資源を出し合っ
てまちづくりに活かそうというものです。今秋、つな
ぐプロジェクトの冊子改訂に伴い、新規プログラムの
募集と現在のプログラムの確認を行います。

申込締切：8月31日（水）※所定のフォーム（センター
ホームページよりダウンロード）にてご提出ください。

「うらやすNPOウィーク2022」 参加団体募集中

毎年、市民のみなさんに市民活動を広くご紹介す
る場として開催しているうらやすNPOウィーク。
今年も展示、動画、ワークショップで活動をア
ピールしてみませんか

募集要領

期 間：9月21日（水）～10月6日（木）

参加部門：展示・動画・ワークショップ

（複数部門での参加可）

※ワークショップの開催日時は期間内で調整します

※動画は特設サイトにアップします。展示会場で
も終日上映

募集団体数：展示30団体

※1週間ごとの入替制 各15団体

場 所：市民ホール（市役所1階）

申 込：所定のフォームにてお申し込みください
※市民活動センターホームページ「うらやすNPO
ウィーク2022参加団体募集」内からダウンロード

申 込 先：市民活動センター

申込締切：8月31日（水）

※動画提出締切：9月11日（日）

 申し込みにあたり必ずセンターホームページ「う
らやすNPOウィーク2022参加団体募集」のオンライン
説明会（動画）をご覧ください

参加団体交流会

日時：10月15日（土）10時～12時 場所：未定

市民活動補助金

令和5年度実施事業を募集します

市民活動補助金とは、地域をよりよくするための主体
的な活動を促進することを目的としており、団体が行
う事業に要する経費の一部を補助する制度です。
団体の自立や活動を発展させるために、補助金を活用
してみませんか。

募集期間

令和4年8月1日（月）～9月30日（金）

市民活動補助金の種類

補助金の種類は2種類あり、応募できるのは、年
度内に1団体1事業までとしています
※それぞれ2事業程度を補助対象候補事業として選定します。

①自立促進事業（はじめの一步）

会員確保を目的とした団体活動内容の宣伝に
関する事業など、団体の自立を促進するのに
効果的な事業

※以前に交付された団体は応募できません

②活性化事業（ステップアップ）

活動期間が1年以上の団体が主体性を持って
行う事業であって、公益性が高く、団体の活
動を発展させるのに効果的な事業

※1団体3回まで

注記：新型コロナウイルス感染症の状況により、スケジュー
ルや公開プレゼンテーションの開催方法等を変更する場合が
あります
詳細が決まりましたら市公式ホームページ、広報うらやす等
でお知らせいたします

団体応援ミニ講座

新ホームページ操作方法講座

センターのホームページが新しくなり、ログイン
方法が2段階認証になるなど操作方法が変更され
ました。基本操作を知りたい方を対象にミニ講座
を開催します。

日時：毎週水曜日 10:00～11:00

場所：市民活動センター

市民活動センターまでEメール、電話でお申し込みください

センター日誌より

例年より早い今年の梅雨明け。夏本番の暑さを想像するとげ
んなりしそうです。さあ、センターではコロナ禍の影響で2
年ぶりの実施となる「若者のための夏休みボランティア」の募
集締切を間近に控え、受入準備の真っ最中。センターには連日、
学校帰りの元気な中高生がやってきました。「どれにする？」
「これがいいんじゃない？」、グループで相談している様子は、
実に楽しげ。これから夏ボラ開始に向け、団体のみなさんと
一緒に若い世代を見守っていきたいと思います。



問い合わせ・申込みは
市民活動センターまで

発行：浦安市市民活動センター
2022年4月10日

〒279-8501千葉県浦安市猫実1-1-1(市庁舎10階)

TEL: 047-305-1721 FAX: 047-305-1722

E-mail: shiminkc@jcom.home.ne.jp

URL <http://u-shimin.genki365.net>

